



# 北中だより

学校教育目標「自ら考え なかまと磨き合う 北中」

菊池北中学校  
学校だより  
No14  
文責 芹川博文  
7月12日(金)

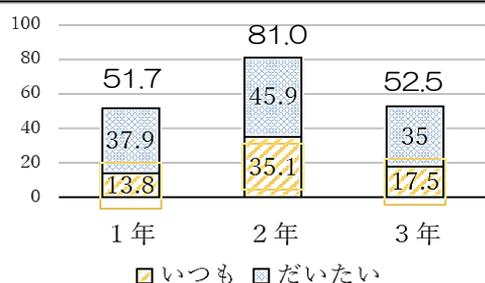
## 「夏休みを先取り」→「どんな夏にするか」は自分次第 ～いかに目標を定め 計画を立てるか～

中学か高校の頃から私は、「夏休み先取り作戦」をするようになりました。実は大したことではありません。「夏休み先取り」気分で、ほんの少し宿題や「やりたい事」を始める、それだけです。

教科によっては夏休みの宿題が分かるこの時期、少しずつ課題に取りかかります。問題は量ではなく、ゼロを1にすること。それだけで気分が大きく変わることがあります。

計画も大切です。下のグラフは、今年度4月実施の学力調査時アンケート結果です。1年生は入学したばかり。3年生は最後の中体連や、体育大会前だったことも影響があるかもしれません。是非、この夏は計画を立てて、これまでと一味違う夏を目指してほしいと願います。自己コントロール力を高めることで、勉強だけでなく、運動や趣味、手伝いなど、一日を「自分で動かす」感覚を身に付けて欲しいと願います。

勉強する時は、自分で計画を立てますか。



ちなみに、夏に向けて準備をしているのはツバメも同じようです。職員玄関の巣の中の子ツバメたちも大きくなってきました。その様子は、自分の翼で大空を飛ぶ日を、緊張とともに楽しみにしているように見えました。



## 「好き」が一番の力 ～水曜 昼休みは English Club～

ALT サンドラ先生の「ハロー」の優しい声に招かれて、ぞくぞくと生徒たちがイングリッシュ・ルームに集まってきます。

毎週水曜の昼休みは、英語だけでボードゲームなどを楽しむ、イングリッシュ・クラブの日です。学年を超えた生徒たちの英会話と笑い声。その姿を見てみると「好き」が一番の力だと実感します。いつの間にかペラペラになるかもしれません。



## 出逢いが可能性を広げる

～新しく赤星先生が赴任されました～

7月から菊池北中学校に来ました 赤星 りさ です。好きなことは、アニメや漫画を見たり、絵を描いたりすることです。優しく明るい生徒と温かい雰囲気の中で働くことができとても嬉しいです。よろしくお願ひします。

7月3日(水)から、新たにゆうゆう学級1組の担任として、赤星りさ先生が北中に赴任されました。

出逢いが可能性を広げます。生徒たちも、赤星先生とたくさん話して学校生活を更に豊かにしてほしいと思います。



## 「過去は変えられません でも未来は、努力で変えられます」

～従業員たった18人の町工場でロケットをつくり、宇宙開発の夢を叶えた著者～

先週、読み聞かせの方が話された植松 努さんの本を図書室で見つけました。一部を紹介します。

「過去は変えられません。でも未来は、努力で変えられます。」

僕が読んだ英語の辞典には、「夢とは、強く願い、努力すれば実現できるもの」と書いてありました。ということは、逆に、「努力しても無駄」と思ってしまったら夢はかなわないのかも？

僕は、中学の進路指導の先生から「現実を見ろ」と言われました。けれど、よくよく考えたら、先生が言う現実とは過去のことなんです。

僕は飛行機やロケットが好きで、たくさん勉強しました。だけど学校の勉強には興味を持てず、成績が悪い。これが僕の現実であり、そして過去です。過去は変えられません。その変えられない過去のおかげで、未来を否定されてしまったのです。でもその後、自分が好きで続けたことが僕の力となり、飛行機もロケットも仕事にできました。

僕が知っている努力している人たちは、みんな、過去ではなく現在と未来の話をします。だから、「努力しても無駄だよ」という言葉に負けない方がいいです。だって、未来は努力で変えられるからです。

(「思うは招く ～自分たちの力で最高のロケットをつくる！」植松 努 著 より)

生徒たちの可能性がどう伸びていくか。この夏が「変わる」チャンスとなればと願いつつ。